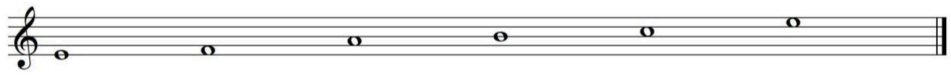



中学校音楽 解答例

1	(1)	主人公（シテ）の相手役。		3点
	(2)	同じ音を主音とする長調と短調の関係。		3点
	(3)	読み方：アツチェランド	意味：だんだん速く	完全解答 3点
	(4)	読み方：アレグロ コン ブリオ	意味：速く，生き生きと	完全解答 3点
	(5)			完全解答 3点
2	※著作権法により掲載を省略します。			4点
3	(1)	丸爪 山田 流	角爪 生田 流	各3点
	(2)	① カホン	② 小さいほう	各3点
	(3)	① 無生野の大念仏	② 谷茶前	③ 天神祭
4				4点
	<p>思いや意図（工夫点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だんだん盛り上がるように，リズムやパートの重なり方を工夫した。手拍子で演奏しやすいよう，使用する音符は4分音符と8分音符とし，最後は2つのパートを同じリズムにして終わる感じを表した。 			2点

5	(1)	原曲作曲者名 滝廉太郎	補作編曲者名 山田耕筰	各3点				
	(2)	緩やかに、悲しげに、そして歌うように			3点			
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> 曲の形式を生かして歌唱表現を工夫しよう。 歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう。 原曲と比較しながら表現を工夫して歌おう。 など 			3点			
6	(1)	①	多様性	②	生かした	③	評価	各3点
		④	体験	⑤	生活			
	(2)	アウトリーチ						3点
7	(1)	①	どのような旋律をつくりたいのか、表したいイメージを具体的にもち、反復もしくは対象を用いて、演奏に無理のない音域で創作すること。					3点
		②	創作した旋律をどのように演奏するかという思いや意図をもたせるため、音の長さや発音の仕方、奏法の工夫など、様々な器楽表現を試しながら工夫させる。					3点
		③	器楽分野においては、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な技能、身体の使い方などの技能を身に付けて演奏することをねらいとしているため、生徒が、自分で創作した旋律を表現するための技能を身に付けているかについて評価し、演奏の技能のみを評価することのないよう留意する。					3点
	(2)	①	ヴェルディ					3点
		(ア)	<ul style="list-style-type: none"> アイダとラダメスのアリアを聴き、曲想と声部ごとの声の音色、歌い方等の特徴を聴き取る。 第2幕第2場のオーケストラと合唱の部分を聴き、声と楽器の音の重なり方の特徴を聴き取る。 聴き取ったことと感じ取ったこととをグループで共有する。 					4点
		②	選択した教材 歌舞伎 選択した理由 ・歌舞伎の長唄とオペラの合唱を比較させることで、音楽の特徴や声の音色の違い、声と楽器の音の重なり方の違い等が明確になり、音楽の共通性や固有性について考えることができるから。					4点
			(イ)	具体的な学習活動 ・第2学年で鑑賞した歌舞伎『勸進帳』の長唄部分と、オペラ『アイダ』の凱旋の合唱を比較聴取する。 ・それぞれの音楽の共通点や、声の音色、声と楽器の音の重なり方の特徴の違いについて気付いたことや感じ取ったことを共有する。 ・あらためてオペラを鑑賞し、オペラのよさや美しさについて自分の言葉でまとめる。				